

学校教育目標  
「自主 協力 継続」

自主 自ら学び、考え、行動する生徒  
協力 協力し、励ましあう生徒  
継続 粘り強く、努力する生徒



学校だより No.4

令和6年6月18日

市川市立第八中学校  
校長 川野辺 修

## アツかった修学旅行！

6月11日（火）～13日（木）にかけて、3年生は北陸地方（富山県・石川県）へ修学旅行に行ってまいりました。早朝の市川駅でチェックを受け東京駅に向かい、そこから北陸新幹線に乗り一路北陸へ。一日目は黒部川のラフティング体験をし、その後富山県富山市にある『ANAクラウンプラザホテル富山』に宿泊しました。二日目は金沢市の兼六園からスタート。現地の高校生をガイド役に兼六園・金沢城を



見学し、その後金沢市内で班別行動をしました。そして二日目は宿を変え、石川県加賀市の『葉渡莉』に宿泊。三日日も引き続き金沢市内を班別で研修をし、名残惜しい気持ちを抑えながらも金沢駅より北陸新幹線で東京まで戻り、そして無事に市川に帰ってきました。

学年室前に並べた“てるてる坊主”の効果か、はたまた“日頃の行い”のお陰か、三日間とも雨には降られず暑いくらいの気候でした。

楽しみにしていた三日間はあっという間でしたが、生徒たちにとって実に充実した三日間になったことと思います。ITL（実行委員）メンバーの充実した顔が修学旅行の成功を物語っていました。



保護者の皆様におかれましても、これまでのご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。

6月26日（水）【引き渡し訓練】・28日（金）【進路講演会】・28日（金）～【全校三者面談】と予定が控えております。

お忙しいとは思いますが、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 『SNSの使い方』について考える

中高生のSNSトラブルは今や社会問題であり、多くのメディアでも取り上げられているのが現状です。例にもれず八中でも実際にトラブルを耳にして、学校で対応したケースもあります。ではなぜ、SNSトラブルは後を絶たないのでしょうか？

人には個性があり、相手がいれば相性というものがあります。ですので、接しやすい人もいれば苦手な人がいて当然です。どんな人に対しても苦手意識を持つことなく接することができる人は、理想的かもしれませんが、稀な存在です。

一方で、「この人苦手だなあ」と感じてしまうことは仕方ないとしても、苦手な人に対してあえて「私はあなたが苦手です!」と伝える必要はあるのでしょうか？良好な人間関係を築くことができている人は、【思っても言う必要がないこと】・【感じて伝える必要がないこと】、これらのことを十分理解して人と接しています。自分の気持ちと相手の気持ち、両方をバランスよく考えられる心のゆとりは、SNS 問題解決の糸口の一つと考えます。



次に、コミュニケーションツールとしてSNSの特性を考えてみたいと思います。SNSの書き込みなどはスマホやPC等、機械に向かってするものであり、送る相手が直接見えないため、心のつぶやきと思いがちです。しかし実際は、自分自身の【思考】をしっかりとアウトプットした【表現】といえます。【表現】をしたということは受け取る人がいるということで、その時点でその情報が拡散したり、誤解が生じたりする危険性を多分に含んでいます。また、一度ネットで公開されたものを取り消すことの困難さもあります。したがって、SNS等の『書き込み』そのもののリスクをしっかりと理解しておくことも、トラブル回避のポイントと考えます。

これまでトラブルに対処してきた際、反省の際に聞かれる言葉は『あんなことしなければ良かった』、『よく考えてから行動すれば良かった』というセリフ。行動を起こす前に、上に書いたことを踏まえ【相手の気持ち】と【行動のリスク】を冷静に考えて、健全にSNSを活用できるようにしたいものです。

保護者の皆様におかれましても、これを機会にご家庭でも『SNSトラブル』についてお子様と一緒に考える機会を作っていただき、トラブルの未然防止と子供たちの心の成長にお力添えいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

★学校 HP トップの掲示板に『SNS に潜む危険.pdf』という資料を掲載しておりますので、こちらもぜひご参照ください。

八中のHPでは日々の様子をブログで紹介しております。  
右のQRコードを読み取り、ご覧ください。

<https://ichikawa-school.ed.jp/dai8-chu/>

